

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



▲ピアゴ入口の所にリサイクルステーションボックス。

。本店探検隊に先発、
ユニバーサル株式会社の協力により、
ピアゴ印場店のお店の中を探検
し、ゴミをたくさんに工夫やりサクル
の取り組みなどを学びます。
。エコエピソードを学びます。
。おがくす粘土で素敵なえんぴつ
を作ります。
主催 尾張旭市環境課、
地域環境活性化協議会
協力 ユニバーサル株式会社

平成30年度
本店探検隊とエコエ
コエピソード環境教室
8月19日(日)午後1時〜3時
場所 ピアゴ印場店。

▼ リサイクルステーションの前でピアゴの担当者から説明を受ける子供達。



▶ ガムボールの交りに
コンテナが活躍。うまの出来
るかな?



「く」はワニのお口かたち
へんはへんはお山のからだ
「し」はしる(すたね)
依万智さんの歌だ。子に
年長名を覚えていた息子は
な時間が思い浮かぶ。
小学校入学の前、手紙
を書いている。
「おがくす粘土が死んだとき、一緒
におはかに入れてあげるの」と
鉛筆でつづった紙には「ゆう
れいのおがくさんえい、あか
ちゃんの時とおせわにありがとう
。ありがとう」
これからもけんきてね」とあ
つた。

(日本語習字最も
美しき二語はリ
「おがくさん」あり
かとう
依万智さんへ詠
んでみる。
子どもの成長とは
言葉の成長でも
ある。
習字言葉の習
得には「話」言葉
以上に「だれかか
教えること」が
重要になる。たか
らわが子の手書
きの文字が感
概をもたらし
のだから。



▶ 一つ大きなカゴに入っているダンボール
は約90キロ。一日このカゴが7つ出来る
と、大変な数字になる。
住みずみの量を計測する機械に挑戦。

